

問29.問30.22.d	22年度上半期院内研修：医師総参加時間	問29.問30.22.d	18年度上半期院内研修：医師総参加時間
問29.問30.22.n	22年度上半期院内研修：看護師総参加時間	問29.問30.22.n	18年度上半期院内研修：看護職員総参加時間
問29.問30.22.p	22年度上半期院内研修：薬剤師総参加時間	問29.問30.22.p	18年度上半期院内研修：薬剤師総参加時間
問29.問30.22.c	22年度上半期院内研修：医療技術員総参加時間	問29.問30.22.c	18年度上半期院内研修：医療技術員総参加時間
問29.問30.22.o	22年度上半期院内研修：その他職員総参加時間	問29.問30.22.o	18年度上半期院内研修：その他職員総参加時間
問29.問30.22.sum	22年度上半期院内研修：全職員総参加時間	問29.問30.22.sum	18年度上半期院内研修：全職員総参加時間
問31.22.1000yen	22年度上半期研修費用：講師招聘費1000円		18年度上半期研修費用：講師招聘費1000円
問32.22.1000yen	22年度上半期研修費用：教材費1000円		18年度上半期研修費用：教材費1000円
問33.22.1000yen	22年度上半期研修費用：研修参加費1000円	問32.1.1000yen	18年度上半期研修費用：研修参加費1000円
問34.22.1000yen	22年度上半期研修費用：旅費1000円		18年度上半期研修費用：旅費1000円
問35.22.1000yen	22年度上半期研修費用：院外支払費用合計1000円		18年度上半期研修費用：院外支払費用合計1000円

問36.year	インシデント報告の開始年：西暦	問33.year	インシデント報告の開始年：西暦
問37	インシデント報告平均作成時間	問34.21.1000yen	インシデント報告平均作成時間
問38.1.2	平成18年度：報告件数：合計		
問38.1.3	平成18年度：報告件数：医師		
問38.1.4	平成18年度：報告件数：看護師		
問38.1.5	平成18年度：報告件数：薬剤師		
問38.1.6	平成18年度：報告件数：その他		
問38.2.2	平成19年度：報告件数：合計		
問38.2.3	平成19年度：報告件数：医師		
問38.2.4	平成19年度：報告件数：看護師		
問38.2.5	平成19年度：報告件数：薬剤師		
問38.2.6	平成19年度：報告件数：その他		
問38.3.2	平成20年度：報告件数：合計		
問38.3.3	平成20年度：報告件数：医師		
問38.3.4	平成20年度：報告件数：看護師		
問38.3.5	平成20年度：報告件数：薬剤師		
問38.3.6	平成20年度：報告件数：その他		
問38.4.2	平成21年度：報告件数：合計		
問38.4.3	平成21年度：報告件数：医師		
問38.4.4	平成21年度：報告件数：看護師		
問38.4.5	平成21年度：報告件数：薬剤師		
問38.4.6	平成21年度：報告件数：その他		
問38.5.2	平成22年度上半期：報告件数：合計	問35.3.1	平成18年度上半期：報告件数：合計
問38.5.3	平成22年度上半期：報告件数：医師	問35.3.2	平成18年度上半期：報告件数：医師・歯科医師
問38.5.4	平成22年度上半期：報告件数：看護師	問35.3.3	平成18年度上半期：報告件数：看護職員
問38.5.5	平成22年度上半期：報告件数：薬剤師	問35.3.4	平成18年度上半期：報告件数：薬剤師
		問35.3.5	平成18年度上半期：報告件数：医療技術員（看護師を除く）
問38.5.6	平成22年度上半期：報告件数：その他	問35.3.6	平成18年度上半期：報告件数：その他
問43	インシデント報告の運用方法	問40	インシデント報告型式
問44	電子システムの導入時期		
問45	電子システムの導入総費用		

問60.1	患者の薬歴管理・服薬指導	問47.1	患者の薬歴管理・服薬指導
問60.2	入院時持参薬調査	問47.2	入院時持参薬調査
問60.3	抗がん剤混合調整	問47.3	抗がん剤混合調整
問60.4	IHVの混合調整	問47.4	IHVの混合調整
問60.5	処方内容に関する院内の疑義照会	問47.5	処方内容に関する院内の疑義照会
問60.6	保険薬局からの照会対応	問47.6	保険薬局からの照会対応
問60.7	医薬品情報収集・提供	問47.7	医薬品情報収集・提供
問60.8	その他の全業務（薬剤・調整・管理業務を含む）	問47.8	その他の全業務（薬剤・調整・管理業務を含む）
問65	医療機器保守点検業務延べ時間合計（人・時間/週）	問49	医療機器保守点検業務延べ時間合計（人・時間/週）
問66	H22年度上半期：外部委託月間保守点検費用	問50	H18年9月1ヶ月月間保守点検費用
問69	患者相談窓口の設置状況		
問70.year	患者相談窓口の設置時期：西暦	問54	患者相談窓口の設置時期：西暦
		問55	患者相談窓口における専従者数：全職員数
問71.1	患者相談窓口における専従者数：医師	問55.1	患者相談窓口における専従者数：医師・歯科医師
問71.2	患者相談窓口における専従者数：看護師	問55.2	患者相談窓口における専従者数：看護職員
問71.3	患者相談窓口における専従者数：薬剤師	問55.3	患者相談窓口における専従者数：薬剤師
問71.4	患者相談窓口における専従者数：社会福祉士	問55.4	患者相談窓口における専従者数：医療技術員
問71.5	患者相談窓口における専従者数：事務管理職員	問55.5	患者相談窓口における専従者数：事務管理職員
問71.6	患者相談窓口における専従者数：その他	問55.6	患者相談窓口における専従者数：事務補佐職員
問72.1	患者相談窓口における従事時間：医師	問56.1	患者相談窓口における従事時間：医師・歯科医師
問72.2	患者相談窓口における従事時間：看護師	問56.2	患者相談窓口における従事時間：看護職員
問72.3	患者相談窓口における従事時間：薬剤師	問56.3	患者相談窓口における従事時間：薬剤師
問72.4	患者相談窓口における従事時間：社会福祉士	問56.4	患者相談窓口における従事時間：医療技術員
問72.5	患者相談窓口における従事時間：事務管理職員	問56.5	患者相談窓口における従事時間：事務管理職員
問72.6	患者相談窓口における従事時間：その他職員	問56.6	患者相談窓口における従事時間：事務補佐職員
問73	メディエーターの配置状況	問57	メディエーターの配置状況
問74.1	メディエーターの従事時間：医師	問58.1	メディエーターの従事時間：医師・歯科医師
問74.2	メディエーターの従事時間：看護師	問58.2	メディエーターの従事時間：看護職員
問74.3	メディエーターの従事時間：薬剤師	問58.3	メディエーターの従事時間：薬剤師
問74.4	メディエーターの従事時間：社会福祉士	問58.4	メディエーターの従事時間：医療技術員
問74.5	メディエーターの従事時間：事務管理職員	問58.5	メディエーターの従事時間：事務管理職員
問74.6	メディエーターの従事時間：その他	問58.6	メディエーターの従事時間：事務補佐職員
問75	医療安全に係る情報公開の有無		
問76.1	公開情報：基本的考え方・方針	問59.1	公開情報：基本的考え方・方針
問76.2	公開情報：組織図・組織体制	問59.2	公開情報：組織図・組織体制
問76.3	公開情報：医療安全活動の紹介	問59.3	公開情報：医療安全活動の紹介
問76.4	公開情報：その他	問59.4	公開情報：その他

医療安全管理体制の整備に関する
実態調査の比較

3) 調査票

(平成 22 年度および 18 年度調査)

医療安全管理体制の整備に関する研究 調査票

(対象:医療安全対策加算算定病院)

【本調査の実施に関して】

- 本調査は、医療安全対策加算算定病院を対象に、医療安全管理体制の整備状況に関する実態を把握し、医療安全管理体制の課題を明確にし、医療安全管理体制の在り方の議論に資することを目的としています。調査結果は、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室において報告する予定で、今後の医療安全管理体制ばかりでなく、診療報酬にも還元されることが見込まれます。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い致します。
- 本調査は、回答医療機関名称を無記名にて実施するもので、本調査への参加は、貴院の自由意志によってなされるものです。参加への同意をしないことを理由に不利益を受けることはありません。なお、本調査への同意は、調査事務局への調査票の返送をもって得られたものとさせていただきます。
- 調査事務局以外の第三者に調査票の個票データが公表されることはありません。
- 本調査の集計結果は、インターネットなどを通じてフィードバックする予定です。

【調査票記入にあたってのお願い】

- ① 回答は、本調査票用紙への記載、または、事務局ホームページからダウンロードした電子ファイルへの入力により行ってください。
電子データURL <http://>
- ② 出方は、口目票・入付内にて記入ください。
選択式の設問では、手書きでの回答の場合には番号を丸で囲むか、○に「✓」を入れてください。
- ③ 本調査票への回答は、原則として平成22年度上半期の状況としてお答えください。設問によって回答する時点や期間が異なりますので、注意書きに留意してください。なお、設問別に定めた時点や期間の状況が不明の場合は、多少前後した時点・期間での回答でも構いません。
- ④ 本調査は、主に医療安全に係る活動の所要人数や所要時間についての設問から構成されています。回答にあたっては、概算やおよその数値に基づく活動状況で構いません。
- ⑤ 設問の中には、用語の定義や補足説明が必要なものを「*1」等で示し、同一のページ内で解説しています。回答の際には、必ずご確認ください。
本調査が対象とする施設は、医療安全対策加算算定病院と考えられる全病院です。
- ⑦ ご記入の後、同封の返信用封筒に入れて平成22年12月30日(木)までに投函してください。
(切手は不要です。)もしくは、FAX(0853-20-2405:島根大学医学部附属病院・病院医学教育センター/医療安全管理室)にてお送りいただくこともできます。
- ⑧ 調査趣旨や回答方法についてのお問い合わせは、下記までお願い致します。

平成22年度厚生労働科学研究「医療安全管理体制の整備に関する研究」調査事務局
島根大学医学部附属病院 病院医学教育センター/医療安全管理室
TEL: 0853-20-2066/2076 FAX: 0853-20-2405
E-mail: anzen-tyousa@med.shimane-u.ac.jp

(1) 医療安全対策加算について

問1 《平成22年9月30日現在》医療安全対策加算の算定状況【〇を1つ】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 01 医療安全対策加算1(85点)を算定 | 02 医療安全対策加算2(35点)を算定 |
| 03 医療安全対策加算を算定していない | 04 わからない |

問2 《問1で01または02を回答した場合》対策加算の算定開始年月

平成		年		月から
----	--	---	--	-----

問3 《問1で03と回答した場合》算定していない理由【該当する全てに〇】

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 01 担当者の研修が未受講 | 02 専従の薬剤師・看護師の未配置 | 03 医療安全管理部門の未設置 |
| 04 業務指針・業務内容の未整備 | 05 関連部門の専任職員の未配置 | 06 医療安全管理委員会との未連携 |
| 07 専任の院内感染管理者の未配置 | 08 患者に対する情報提供の欠如 | 09 患者相談窓口の未設置 |
| 10 業務基準の未整備 | 11 専任の薬剤師・看護師の未配置 | 12 その他 |

問4 《問3で12と回答した場合》算定していない具体的な理由【記入】

問5 《平成22年3月時点》従来の医療安全対策加算(50点)の算定状況【〇を1つ】

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 01 医療安全対策加算(50点)を算定 | 02 医療安全対策加算(50点)を算定していない |
|---------------------|--------------------------|

問6 《問5で01を回答した場合》対策加算(50点)の算定開始年月

平成		年		月から
----	--	---	--	-----

(2) 安全管理に係る管理者・責任者の配置状況について

問7 《平成22年9月30日現在》「医療に係る安全管理を行う者（医療安全管理者）」の配置状況【〇を1つ】

- | | |
|-----------|------------|
| 01 配置している | 02 配置していない |
|-----------|------------|

問8 《問7で01と回答した場合》過去3代の「医療安全管理者」の配置時期

管理者	(1) 勤務体系*1 【〇を1つ】	(2) 着任時期				(3) 退任時期					
I. 現職	01 専従 02 専任 03 専従・専任	平成		年		月から	現在に至る				
II. 先代	01 専従 02 専任 03 専従・専任	平成		年		月から	平成		年		月まで
III. 先々代	01 専従 02 専任 03 専従・専任	平成		年		月から	平成		年		月まで

問9 《平成22年9月30日現在》「医薬品の安全使用のための責任者の配置」の配置状況【〇を1つ】

- | | |
|-----------|------------|
| 01 配置している | 02 配置していない |
|-----------|------------|

問10 《問9で01を回答した場合》配置開始年月

平成		年		月から
----	--	---	--	-----

問11 《平成22年9月30日現在》「医療機器の安全使用のための責任者の配置」の配置状況【〇を1つ】

- | | |
|-----------|------------|
| 01 配置している | 02 配置していない |
|-----------|------------|

問12 《問11で01を回答した場合》配置開始年月

平成		年		月から
----	--	---	--	-----

*1: 任期途中での「専任⇒専従への配置転換」あるいは「専従⇒専任への配置転換」がある場合は、03を選択してください。

(3) 医療安全管理の組織体制について

問13 「医療に係る安全管理を行う部門（医療安全管理部門）」の設置時期	平成		年から				
問14 《平成22年9月30日現在》医療安全管理部門における専従(週40時間以上/週5日以上 従事)の従事者数 ※従事者数がない場合は、「0」と記入してください。	職種	(1)医師	(2)看護師	(3)薬剤師	(4)医療技術員	(5)事務管理職員*1	(6)事務補佐職員
人数		人	人	人	人	人	人
問15 《平成22年9月30日現在》医療安全管理部門における専任(兼務を含む)の従事者の1週当たり延べ従事時間*2 ※従事者数がない場合は、「0」と記入してください。	職種	(1)医師	(2)看護師	(3)薬剤師	(4)医療技術員	(5)事務管理職員*1	(6)事務補佐職員
従事時間		人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週
問16 《平成22年9月30日現在》医療安全管理部門の役割の明確さ【0を1つ】	01 とても明確 02 やや明確 03 どちらでもない 04 あまり明確でない 05 全く明確でない						
問17 《平成22年9月30日現在》医療安全管理部門への必要な権限の有無【0を1つ】	01 とてもある 02 ややある 03 どちらでもない 04 あまりない 05 全くない						
問18 《平成22年9月30日現在》医療安全管理部門への必要な資源の有無【0を1つ】	01 とてもある 02 ややある 03 どちらでもない 04 あまりない 05 全くない						
問19 《平成22年9月30日現在》医療安全管理に対する院長や副院長等からの支援の有無【0を1つ】	01 とてもある 02 ややある 03 どちらでもない 04 あまりない 05 全くない						

*1:一定の権限をもって、計画・立案・実施を担っている事務職員が該当します。

*2:「週4時間従事する看護師1名」と「週2時間従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には6人・時間/週と回答してください。

(4) 安全管理に係る委員会について

《平成22年度上半期(4月～9月)》安全管理に係る「(1)院内で最上位にある委員会*3」, 「(2)医療安全管理対策委員会の構成員および各部門の医療安全管理の担当者等が参加しているカンファレンス*4」の開催状況について

安全管理に係る委員会の種類	(1)院内で最上位にある委員会*3	(2)カンファレンス*4
問20 構成人数	人	人
問21 平均的な出席者数	人	人
問22 1開催当りの平均的な所要時間(分)	分/回	分/回
問23 上半期の総開催回数	回	回

*3:医療安全対策加算の施設基準の(1)のオにおける委員会をさします。

*4:医療安全対策加算の施設基準の(3)のウに相当する業務をさします。

(5) 安全管理に係る組織的な院内巡視活動について

《平成22年度上半期(4月～9月)》安全管理に関する組織的な院内巡視活動の開催状況について

安全管理に係る院内巡視活動の種類	(1)医療安全管理者による院内巡視*5	(2)各部門が主体的に企画・運営している院内巡視*6 (主な活動を2つまで)
問24 実施部門・活動内容	医療安全管理者による巡視	
問25 1回当りの平均的な実施人数	人	人
問26 1回当りの平均的な所要時間(分)	分/回	分/回
問27 上半期の総実施回数	回	回

*5:医療安全対策加算の施設基準の(2)のイにおける院内巡視活動をさします。

*6:医療安全管理部門で把握可能な範囲のみで構いませんので、看護部等で主体的に企画・運営している活動量の多い主な院内巡視活動を最大2つまで回答してください。

(6) 安全管理に特化した院内研修について

《平成21年度下半期(平成21年10月～平成22年3月)》専ら安全管理・医薬品安全・医療機器安全のために開催した院内研修*1について(参加者数の多い研修7種まで)

	問28			問29 開催時間 (分)	問30 職種別参加者数					
	(ア)研修領域【○を1つ】	(イ)研修内容【自由記入】			(1)医師	(2)看護 職員	(3)薬剤師	(4)医療 技術員	(5)その他 職員	
I	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
II	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
III	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
IV	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
V	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
VI	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
VII	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	

《平成22年度上半期(4月～9月)》専ら安全管理・医薬品安全・医療機器安全のために開催した院内研修*1について(参加者数の多い研修7種まで)

VIII	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
IX	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
X	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
XI	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
XII	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
XIII	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	
XIV	(ア)	01 安全管理	02 医薬品	03 医療機器						
	(イ)			分	人	人	人	人	人	

*1:職員研修の一部のみに、医療安全管理に係る内容が含まれる研修は含めないでください。

(7) 研修のための院外支払い費用について

《平成21年度下半期・平成22年度上半期》医療安全管理(医薬品・医療機器に係る安全管理を含む)に係る研修のために、病院が院外に支払った費用(講師招聘費、教材費、研修参加費、旅費等)

	費目	(1)平成21年度下半期(10月～3月)	(2)平成22年度上半期(4月～9月)
問31	講師招聘費	千円	千円
問32	教材費	千円	千円
問33	研修参加費	千円	千円
問34	旅費	千円	千円
問35	院外支払い費用合計	千円	千円

(8) インシデント報告^{*1}収集・分析等について

問36 「インシデント報告・収集・分析活動」の開始時期	平成	年から					
問37 《平成22年9月30日現在》インシデント報告 ^{*1} 1件当たりの平均的な作成・入力時間【〇を1つ】 ※報告までに所属長等の確認を必要とする場合：報告者の作成・入力時間と確認時間の合計時間として下さい。	01 5分以下 02 6～15分 03 16～30分 04 31～45分 05 46～60分 06 60分以上						
問38 《平成18年度～平成22年度上半期(4月～9月)》職種別インシデント報告件数 ※職種別報告件数が不明の場合は、「(2)合計」の件数のみでも構いません。							
	(1) 報告年度	(1) 年度開始月 【〇を1つ】	(2)合計	(3)医師	(4)看護職員	(5)薬剤師	(6)その他職員
	I. 平成18年度	01 4月～ 02 1月～	件	件	件	件	件
	II. 平成19年度	01 4月～ 02 1月～	件	件	件	件	件
	III. 平成20年度	01 4月～ 02 1月～	件	件	件	件	件
	IV. 平成21年度	01 4月～ 02 1月～	件	件	件	件	件
	V. 平成22年度 上半期	01 4月～ 02 1月～	件	件	件	件	件
問39 《平成22年9月30日現在》インシデント報告のない事例が医事紛争に発展した際に、病院として十分な対応を実施できないことの表明状況【〇を1つ】	01 文書にて表明している 02 口頭のみで表明している 03 表明していない						
問40 《問39で01または02と回答した場合》当該方針の表明時期	平成	年頃					
問41 《平成22年9月30日現在》インシデント報告における報告者氏名の記入の有無【〇を1つ】	01 記入させている 02 記入させていない(匿名) 03 報告者の判断に委ねている						
問42 《問41で01と回答した場合》報告者氏名を記入させた時期	平成	年頃					
問43 《平成22年9月30日現在》インシデント報告の運用方法【〇を1つ】	01 電子システムにて運用 02 紙媒体にて運用 03 その他						
問44 《問43で01と回答した場合》電子システムの導入時期	平成	年から					
問45 《問43で01と回答した場合》電子システムの導入総費用	およそ	万円					
問46 《問43で01と回答した場合》電子システムにおいて実際に活用している機能【該当する全てに〇】	01 報告件数に関するデータ集計 02 原因分析に関する事例分析(RCA, SHELL, 4M-4Eなど) 03 発生予防に関する事例分析(FMEAなど) 04 報告者とのコミュニケーション(メッセージ送信など) 05 E-learning 06 その他						
問47 《問46で06と回答した場合》「その他」の具体的内容【記入】							
問48 《平成18年度～平成22年度上半期(4月～9月)》定期的な「医療安全ニュース」などのフィードバック回数							
	実施年度	I. 平成18年度	II. 平成19年度	III. 平成20年度	IV. 平成21年度	V. 平成22年度 上半期	
	掲示・配布回数	回	回	回	回	回	
問49 《問48で1件以上のフィードバックがある場合》「医療安全ニュース」の主な内容【該当する全てに〇】	01 報告件数の集計結果 02 事例分析の結果 03 院外事例の紹介 04 その他						
問50 《問49で04と回答した場合》「その他」の具体的内容【記入】							

*1:インシデント報告には、医療事故(アクシデント)報告を含めないでください

(9) 医薬品の安全管理に関わる活動について

問51 《平成22年9月30日現在》「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書」の整備状況【〇を1つ】

01 整備している	02 整備していない
-----------	------------

問52 《問51で01と回答した場合》手順書の初版の整備時期

	平成		年頃
--	----	--	----

問53 《問51で01と回答した場合&平成22年9月30日現在》手順書の改訂回数

	およそ		回
--	-----	--	---

問54 《平成22年9月30日現在》携帯版(ポケットに収まる程度)の手順書・マニュアルの発行状況【〇を1つ】

01 発行している	02 発行していない
-----------	------------

問55 「直近の1週間」の範囲

	月		日から		月		日まで
--	---	--	-----	--	---	--	-----

問56 《問55における1週間》薬剤師の常勤換算人数*1

		人/週
--	--	-----

問57 《平成22年9月30日現在》病棟数 (ICU・CCU等を含む)

		病棟
--	--	----

問58 《問55における1週間》薬剤師が駐在する病棟数 (ICU・CCU等を含む) *2

		病棟
--	--	----

問59 《問55における1週間》薬剤師の病棟駐在総延べ時間

		人・時間/週
--	--	--------

問60 《問55における1週間》全薬剤師の総活動時間における活動内容の(1)～(8)の内訳が、合計で100%になるように配分してください。およその割合で構いませんので割り切って回答してください。

(1)患者の薬歴管理・服薬指導		%	(4)IVHの混合調整		%	(7)医薬品情報収集・提供		%
(2)入院時持参薬調査		%	(5)処方内容に関する院内の疑義照会		%	(8)その他の全業務 (調剤・調整、管理業務を含む)		%
(3)抗がん剤混合調整		%	(6)保険薬局からの照会対応		%	(9)合計：(1)～(8)の合計 (100%にして下さい)		%

問61 《平成22年9月30日現在》「医薬品の安全使用のための必要となる情報」の収集の有無【〇を1つ】

01 収集している	02 収集していない
-----------	------------

問62 《問61で01と回答した場合》情報収集の具体的内容【記入】

--

*1:常勤換算とは、1週間の常勤を1.0とし、1週間に半日分のみ勤務する場合を0.1人と計算するもの(小数点第一位まで記入してください)。
 *2:薬剤師が常駐していたり、半日等定期で駐在している病棟の総数を回答してください。

(10) 医療機器の保守点検について

問63 「直近の1週間」の範囲

	月		日から		月		日まで
--	---	--	-----	--	---	--	-----

問64 《問63における1週間》臨床工学技士の常勤換算人数*3

		人/週
--	--	-----

問65 《問63における1週間》全臨床工学技士の医療機器保守点検業務延べ時間合計

		人・時間/週
--	--	--------

問66 《平成22年度上半期(4月～9月)》外部委託による医療機器の月間保守点検費用

		千円
--	--	----

問67 《平成22年9月30日現在》「医療機器の安全使用のための必要となる情報」の収集の有無【〇を1つ】

01 収集している	02 収集していない
-----------	------------

問68 《問67で01と回答した場合》情報収集の具体的内容【記入】

--

*3:常勤換算とは、1週間の常勤を1.0とし、1週間に半日分のみ勤務する場合を0.1人と計算するもの(小数点第一位まで記入してください)。

(11) 患者側の立場を重視する活動について

問69 《平成22年9月30日現在》「患者相談窓口」の設置状況【〇を1つ】

01 設置している	02 設置していない
-----------	------------

問70 《問69で01と回答した場合》「患者相談窓口」の設置時期

平成		年から	
----	--	-----	--

問71 《平成22年9月30日現在》患者相談窓口における専従(週40時間以上/週5日以上 従事)の従事者数

職種	(1)医師	(2)看護師	(3)薬剤師	(4)社会福祉士	(5)事務管理職員*1	(6)その他職員
人数	人	人	人	人	人	人

問72 《平成22年9月30日現在》患者相談窓口における専任(兼務を含む)の従事者の1週当たり延べ従事時間*2

職種	(1)医師	(2)看護師	(3)薬剤師	(4)社会福祉士	(5)事務管理職員*1	(6)その他職員
従事時間	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

問73 《平成22年9月30日現在》「メディエーター*3」の配置状況【〇を1つ】

01 配置している	02 配置にむけて準備・検討中	03 配置していない
-----------	-----------------	------------

問74 《問73で01と回答した場合》メディエーター*3の1週当たり延べ従事時間*2

職種	(1)医師	(2)看護師	(3)薬剤師	(4)社会福祉士	(5)事務管理職員*1	(6)その他職員
従事時間	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

*1:一定の権限をもって、計画・立案・実施を担っている事務職員が該当します。

*2:「週4時間従事する看護師1名」と「週2時間従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には6人・時間/週と回答してください。

*3:医療事故などが疑われるような訴えが患者からあった場合に、医療者側・患者側の間で中立な立場で仲介する担当者が該当します。

(12) 医療の質・安全に関する情報公開について

問75 《平成22年9月30日現在》病院ホームページを通じた医療安全に係る情報公開の有無【〇を1つ】

01 公開している	02 公開していない
-----------	------------

問76 《問75で01と回答した場合》公開している情報【該当するもの全て〇】

01 基本的考え方・方針*1	02 組織図・組織体制	03 医療安全活動の紹介	04 その他
----------------	-------------	--------------	--------

問77 《問76で03と回答した場合》「医療安全活動」の具体的内容【記入】

問78 《問76で04と回答した場合》「その他」の具体的内容【記入】

*4:医療法施行規則第11条に定めるところの「医療に係る安全管理のための指針」に相当する内容をさします。

(13) 安全文化の測定について

問79 《平成22年9月30日現在》病院全体・部門全体(看護部など)を対象にした安全文化の測定の有無【〇を1つ】

01 測定したことがある	02 測定したことがない
--------------	--------------

問80 《問79で01と回答した場合》使用した安全文化調査票の種類(研究実施者名や実施組織名)【記入】

問81 《問79で01と回答した場合》安全文化を測定した年度【該当するもの全て〇】

01 平成17年度以前	02 平成18年度	03 平成19年度	04 平成20年度	05 平成21年度	06 平成22年度
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

問82 《問79で02と回答した場合》安全文化の測定の関心の有無【〇を1つ】

01 測定してみたい	02 測定したいと思わない	03 わからない
------------	---------------	----------

〇布室がめりまじたり、本調査事務向(島根大学医学部附属病院 病院医学教育センター/医療安全管理室)
 TEL: 0853-20-2066/2076 / E-mail: anzen-tyousa@med.shimane-u.ac.jp にご連絡下さい

(14) 施設基本情報

問83 《平成22年9月30日現在》病院の種別【該当する全てに○】

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 01 大学病院本院(相当) | 02 大学病院分院(相当) | 03 大学病院以外 |
| 04 単独型臨床研修病院 | 05 管理型臨床研修病院 | 06 協力型臨床研修病院 |

問84 開設地域（地方厚生局による分類）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 01 北海道 | 02 東北
<small>(青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)</small> | 03 関東信越
<small>(茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 新潟, 山梨, 長野)</small> | 04 東海北陸
<small>(富山, 石川, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重)</small> |
| 05 近畿
<small>(福井, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)</small> | 06 中国
<small>(鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)</small> | 07 四国
<small>(徳島, 香川, 愛媛, 高知)</small> | 08 九州
<small>(福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)</small> |

問85 開設者

- | | | | |
|--------------|----------------|------------|-------------|
| 01 国立・独立行政法人 | 02 公立・地方独立行政法人 | 03 公的 | 04 社会保険関係法人 |
| 05 学校法人 | 06 医療法人 | 07 その他 () | |

問86 《平成22年9月30日現在》許可病床数

	(1) 一般病床	(2) 医療療養病床	(3) 介護療養病床	(4) 精神病床	(5) 結核病床	(6) 感染症病床
許可病床数	床	床	床	床	床	床
	(7) 集中治療室*1	(8) ハイアユニット	(9) 救急専用病床	(10) 放射線治療病床	(11) 無菌治療室	
(特殊診療設備)許可病床数	床	床	床	床	床	床

問87 《平成22年9月30日現在》常勤換算職員数*2（回答時点は多少前後して構いません）

	(1) 医師	(2) 看護職員*3	(3) 薬剤師	(4) 医療技術員	(5) 事務職員	(6) その他職員*3
常勤換算人数*2	人	人	人	人	人	人

問88 《平成22年度上半期(4月～9月)》患者数

	① 延べ外来患者数	② 新外来患者数 (初診料算定件数)	③ 延べ入院患者数	④ 新入院患者数	⑤ 退院患者数
患者数	人	人	人	人	人

問89 《平成22年度上半期(4月～9月)》一般病床の稼働状況

(1) 平均在院日数（小数点第1位まで）	日	(2) 病床利用率	%
----------------------	---	-----------	---

問90 《平成22年度9月30日現在》病院機能等

(1) 一般病棟の看護配置【○を1つ】	01 7対1	02 10対1	03 13対1	04 15対1
(2) 救急医療の受け入れ体制【○を1つ】	01 三次救急	02 二次救急 (毎日対応)	03 二次救急 (特定日対応)	04 一次救急

問91 《平成22年9月30日現在》日本医療機能評価機構の認定の有無【○を1つ】

01 認定あり	02 認定なし
---------	---------

問92 《平成9年度～平成22年度》日本医療機能評価機構の認定を受けた年度【該当するもの全て○】

01 平成9年度	02 平成10年度	03 平成11年度	04 平成12年度	05 平成13年度	06 平成14年度	07 平成15年度
08 平成16年度	09 平成17年度	10 平成18年度	11 平成19年度	12 平成20年度	13 平成21年度	14 平成22年度

問93 医業収支 ※診療報酬体系の在り方を検討する際に必要となる情報です。差し支えない範囲で回答してください。

(1) 平成22年度上半期 医業収入	千円	(5) 平成21年度年間 医業収入	千円
(2) 平成22年度上半期 介護収入	千円	(6) 平成21年度年間 介護収入	千円
(3) 平成22年度上半期 医業・介護費用	千円	(7) 平成21年度年間 医業・介護費用	千円
(4) (うち) 人件費	千円	(8) (うち) 人件費	千円

*1: 診療報酬点数上の集中治療室, 新生児特定集中治療室, 母体・胎児集中治療室, 広範囲熱傷集中治療室, 脳卒中ケアユニットを含めてください。

*2: 常勤換算とは、1週間の常勤を1.0とし、1週間に半日分のみ勤務する場合を0.1人と計算するもの(小数点第一位まで記入してください)。

*3: 看護助手は「⑥その他職員」に含めてください。

設問は以上です。ご多用の折、多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成18年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学推進研究事業[H16-政策-014]

医療における安全・質確保のための必要資源の研究 調査票

(単独・管理型臨床研修病院/大学病院)

【本調査の実施に関して】

- 本調査は、医療安全確保に関するコストの実態を把握し、診療報酬体系の在り方の議論に資することを目的としています。調査結果は、中央社会保険医療協議会(中医協)診療報酬調査専門組織および基本問題小委員会において報告することになっています。本調査の主旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い致します。
- 本調査は、回答医療機関名称を無記名にて実施するもので、本調査への参加は、貴院の自由意志によってなされるものです。参加への同意をしないことを理由に不利益を受けることはありません。なお、本調査への同意は、調査事務局への調査票の返送をもって得られたものとさせていただきます。
- 調査事務局以外の第三者に調査票の個票データが公表されることはありません。
- 本調査の集計結果は、インターネットなどを通じてフィードバックする予定です。

【調査票記入にあたってのお願い】

- ① 回答は、本調査票用紙への記載、または、事務局ホームページからダウンロードした電子ファイルへの入力により行ってください。なお、電子ファイルでの回答を希望される場合は、同封したフロッピーディスクを事務局へのデータ郵送のためにお使いください。
電子データURL <http://med-econ.umin.ac.jp/anzen/>
- ② 回答は、白背景・太枠内にご記入ください。
選択式の設問では、手書きでの回答の場合には番号を丸で囲むか、○に「✓」を入れていただき、電子ファイルでの回答の場合には選択肢をクリックしてください。
- ③ 本調査票への回答は、原則として平成18年9月30日並びに、平成18年9月、平成18年度上半期(平成18年4月1日～9月30日)の状況としてお答えください。設問によって回答いただく時点や期間が異なりますので、注意書きに留意してください。なお、設問別に定めた時点や期間の状況が不明の場合は、多少前後した時点・期間での回答でも構いません。
- ④ 本調査は、主に医療安全に係る活動の所要人数や所要時間についての設問から構成されています。回答にあたっては、概算やおよその数値に基づく活動状況で構いません。
- ⑤ 設問の中には、用語の定義や補足説明が必要なものを「*1」等で示し、同一のページ内で解説しています。回答の際には、必ずご確認ください。
- ⑥ 本調査が対象とする施設は、平成18年度臨床研修プログラム(単独型・管理型)の全参加施設(1,039施設)です。同一の法人として複数の施設を保有している施設におかれましては、臨床研修病院として指定されている施設のみを対象として回答してください。
- ⑦ ご記入・ご入力の後、同封の返信用封筒に入れて平成19年1月19日(金)までに投函して下さい(切手は不要です)。
- ⑧ 調査主旨や回答方法についてのお問い合わせは、下記までお願い致します。

平成18年度「医療における安全・質確保のための必要資源の研究」調査事務局
京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野内
TEL: 075-753-4454 FAX: 075-753-4455
E-mail: anzen@pbh.med.kyoto-u.ac.jp

(1) 安全管理の組織体制について

問1 安全管理に係る事務局やそれに相当する組織(安全管理室など)をいつ設置しましたか？

和暦で回答してください。	平成	年度	設置していない場合は「✓」を記入→	<input type="checkbox"/>
--------------	----	----	-------------------	--------------------------

問2 平成18年9月30日現在の、問1の組織における専従(安全管理のためにほぼ100%従事)の勤務者数を回答してください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員*1	⑥事務補佐職員
人	人	人	人	人	人

問3 平成18年9月の状況について、問1の組織における兼務の従事者の1週当たり延べ従事時間*2を回答してください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員*1	⑥事務補佐職員
人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

問4 平成18年9月30日現在、問1の組織の役割は明確ですか？(複数選択不可)

1. とても明確 2. やや明確 3. どちらでもない 4. あまり明確でない 5. 全く明確でない

問5 平成18年9月30日現在、必要な権限・資源が問1の組織に与えられていますか？(複数選択不可)

1. とてもある 2. ややある 3. どちらでもない 4. あまりない 5. 全くない

問6 平成18年9月30日現在、医療安全管理に対して、院長や副院長等からの積極的な関与と強い支援はありますか？(複数選択不可)

1. とてもある 2. ややある 3. どちらでもない 4. あまりない 5. 全くない

*1:一定の権限をもって、計画・立案・実施を担っている職員が該当します。

*2:「週4時間従事する看護師1名」と「週2時間従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には6人・時間/週と回答してください。

(2) 安全管理に係る委員会・会合について

平成18年度上半期(4月～9月)の間に開催した、安全管理に係る①院内で最上位にある委員会*3、②各部署の安全推進者*4が集う会合について問7～問10を回答してください。

		①院内で最上位にある委員会*3	②各部署の安全推進者*4が集う会合
問7	委員会・会合の構成人数	人	人
問8	委員会・会合の平均的な出席者数	人	人
問9	1開催当りの平均的な所要時間(分)	分/回	分/回
問10	上半期の総開催回数	回	回

*3:医療法施行規則第11条に定めるところの「医療に係る安全管理のための委員会」に相当する活動をさします。

*4:各部署の安全推進者とは、各部署別に任命された安全管理のための担当者(リスクマネジャー、セーフティマネジャー等)をさします。

(3) 安全管理に係る組織的なラウンド*5について

平成18年度上半期(4月～9月)の間に実施した、安全管理に関して組織的に(病院レベルで認知されて)実施しているラウンド*5について、問11～問14を回答してください。

		①医療安全事務局等が主体的に企画・運営しているラウンド*5	②各部門が主体的に企画・運営しているラウンド*6 (主な活動を2つまで)
問11	実施部署・活動内容		
問12	1回当りの平均的な実施人数	人	人
問13	1回当りの平均的な所要時間(分)	分/回	分/回
問14	上半期の総実施回数	回	回

*5:ラウンドとは、安全管理に関して各部署を巡視する活動をさし、内部レビュー、内部監査、内部オーデイトと呼ばれる場合もあります。

*6:医療安全事務局等で把握可能な範囲のみで構いませんので、看護部等で主体的に企画・運営している活動量の多い主なラウンド活動を最大2つまで回答してください。

(4) 感染制御の組織体制について

問15 感染対策の実務を担う組織 (ICT:感染対策チームおよび感染対策室・事務局など)をいつ設置しましたか？

和暦で回答してください。	平成	年度	設置していない場合は「✓」を記入→	<input type="checkbox"/>
--------------	----	----	-------------------	--------------------------

問16 平成18年9月30日現在の、問15の組織^{*1}における専従(感染制御のためにほぼ100%従事)の勤務者数を回答して下さい

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員 ^{*2}	⑥事務補佐職員
人	人	人	人	人	人

問17 平成18年9月の状況について、問15の組織^{*1}における兼務の従事者の1週当り延べ従事時間^{*3}を回答してください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員 ^{*2}	⑥事務補佐職員
人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

問18 平成18年9月30日現在、問15の組織の役割は明確ですか？(複数選択不可)

1. とても明確 2. やや明確 3. どちらでもない 4. あまり明確でない 5. 全く明確でない

問19 平成18年9月30日現在、必要な権限・資源が問15の組織に与えられていますか？(複数選択不可)

1. とてもある 2. ややある 3. どちらでもない 4. あまりない 5. 全くない

問20 平成18年9月30日現在、病院感染対策に対して、院長や副院長等からの積極的な関与と強い支援はありますか？(複数選択不可)

1. とてもある 2. ややある 3. どちらでもない 4. あまりない 5. 全くない

*1:感染対策チームおよび感染対策室・事務局などをそれぞれ設置している場合は、両組織を足し合わせた活動状況を回答してください。

*2:一定の権限をもって、計画・立案・実施を担っている職員が該当します。

*3:「週4時間従事する看護師1名」と「週2時間従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には6人・時間/週と回答してください。

(5) 感染制御に係る委員会・会合について

平成18年度上半期(4月～9月)の間に開催した、感染制御に係る①院内で最上位にある委員会^{*3}、②各部署の感染対策担当者^{*4}が集う会合について問21～問24を回答してください。

	①院内で最上位にある委員会 ^{*3}	②各部署の感染対策担当者 ^{*4} が集う会合
問21 委員会・会合の構成人数	人	人
問22 委員会・会合の平均的な出席者数	人	人
問23 1開催当りの平均的な所要時間(分)	分/回	分/回
問24 上半期の総開催回数	回	回

*3:平成18年度診療報酬体系の基本診療料の施設基準に含まれる院内感染防止対策における、「院内感染防止対策委員会」に相当する活動をさします。

*4:各部署の感染対策担当者とは、各部署別に任命された感染対策のための担当者をさします。

(6) 感染制御に係る組織的なラウンド^{*5}について

平成18年度上半期(4月～9月)の間に実施した、感染制御に関して組織的に(病院レベルで認知されて)実施しているラウンド^{*5}について、問25～問27を回答してください。

	①感染対策の実務を担う組織が主体的に企画・運営しているラウンド ^{*5}
問25 1回当りの平均的な実施人数	人
問26 1回当りの平均的な所要時間(分)	分/回
問27 上半期の総実施回数	回

*5:ラウンドとは、感染対策について専門的なチーム(ICTなど)による巡視活動などをさします。

(7) 安全管理・感染制御に特化した院内研修について [平成18年度上半期の状況]

平成18年度上半期(4月～9月)の間で、専ら医療安全(安全管理・感染制御)のために開催した院内研修^{*1}について(参加者数の多い研修15種まで)、問28～問30について回答してください。

	問28 研修内容 (主なテーマ)	問29 開催時間	問30 職種別参加者数							
			①医師・ 歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療 技術員	⑤その他 職員			
(1)		時間		人		人		人		人
(2)		時間		人		人		人		人
(3)		時間		人		人		人		人
(4)		時間		人		人		人		人
(5)		時間		人		人		人		人
(6)		時間		人		人		人		人
(7)		時間		人		人		人		人
(8)		時間		人		人		人		人
(9)		時間		人		人		人		人
(10)		時間		人		人		人		人
(11)		時間		人		人		人		人
(12)		時間		人		人		人		人
(13)		時間		人		人		人		人
(14)		時間		人		人		人		人
(15)		時間		人		人		人		人

*1:職員研修の一部のみに、安全管理・感染制御に係る内容が含まれる研修は含めないでください。

(8) 安全管理・感染制御に特化した院内研修について [平成17年度上・下半期の状況]

平成17年度上・下半期の間で、専ら医療安全(安全管理・感染制御)のために開催した院内研修^{*2}の参加者数合計を回答してください。

		①平成17年度上半期[4月～9月]	②平成17年度下半期[10月～3月]
問31	研修の参加者数合計		人

*2:職員研修の一部のみに、安全管理・感染制御に係る内容が含まれる研修は含めないでください。

(9) 研修のための院外支払い費用について

平成18年度上・下半期について、安全管理・感染制御に係る研修のために、病院が院外に支払った費用(講師招聘費、教材費、研修参加費、旅費等)を知りえる範囲で回答してください。なお、平成18年度下半期は、予算や予測値で構いません。

		①平成18年度上半期[4月～9月]	②平成18年度下半期[10月～3月]予測
問32	院外支払い費用		千円

(10) インシデント報告^{*1}収集・分析等について

問33 あなたの施設では、インシデント報告システムをいつから開始しましたか？

和暦で回答してください。	平成	年度	構築していない場合は「✓」を記入→	<input type="checkbox"/>
--------------	----	----	-------------------	--------------------------

問34 平成18年9月の状況について、インシデント報告^{*1}の1件当りの平均的な作成・入力時間を選択してください。
なお、報告までに所屬長等の確認を必要としている場合には、報告者の作成・入力時間と確認時間の合計時間を回答してください。(複数選択不可)

○(1) 5分以下 ○(2) 6～15分 ○(3) 16～30分 ○(4) 31～45分 ○(5) 46～60分 ○(6) 61分以上

問35 平成17年度～平成18年度上半期について、職種別のインシデント報告件数を回答してください。
なお、職種別報告件数が不明の場合は、「①合計」の件数のみで構いません。

		①合計	②医師・歯科医師	③看護職員	④薬剤師	⑤医療技術員	⑥その他職員
(1)	平成17年度 [4月～9月]	件	件	件	件	件	件
(2)	平成17年度 [10月～3月]	件	件	件	件	件	件
(3)	平成18年度 [4月～9月]	件	件	件	件	件	件

問36 平成18年度上半期(4月～9月)の状況について、全インシデント報告に占める医薬品関係による事例の割合を回答してください。

%

問37 平成17年度～平成18年度上半期について、①プレアボイド報告件数^{*2}、②医療事故情報提供件数^{*3}を回答してください。

		①プレアボイド報告件数 ^{*2} (日本病院薬剤師会事業)	②医療事故情報提供件数 ^{*3} (医療事故収集・分析・提供事業)
(1)	平成17年度 [4月～9月]	件	件
(2)	平成17年度 [10月～3月]	件	件
(3)	平成18年度 [4月～9月]	件	件

問38 平成18年9月30日現在、あなたの施設は、医療事故情報提供事業^{*3}の報告義務対象医療機関ですか？(複数選択不可)

○ 1. はい(国立高度専門医療センター、独立行政法人国立病院機構、大学病院、特定機能病院) ○ 2. いいえ

問39 平成18年9月30日現在、あなたの施設では、インシデントの報告に関する免責性(人事において不利な待遇を受けないこと等)を保証する文書を整備していますか？(複数選択不可)

○ 1. 整備している ○ 2. 文書は未整備だが口頭説明あり ○ 3. 文書未整備で口頭説明なし

問40 平成18年9月30日現在、インシデントの報告形式について、最も当てはまるものはどれですか？(複数選択不可)

○ 1. 選択式(電子入力) ○ 2. 選択・記述併用式(電子入力) ○ 3. 記述式(電子入力) ○ 4. 選択式(手書き) ○ 5. 選択・記述併用式(手書き) ○ 6. 記述式(手書き)

問41 平成18年4月～9月の間で、インシデント報告をもとに改善策に結びつけたと思われる事例の数を回答してください。

事例

*1: インシデント報告には、医療事故(アクシデント)報告を含めないでください

*2: 薬剤師による薬学的ケアを通じて、医薬品の副作用や相互作用を回避したり、早期に発見し軽減化した事例を日本病院薬剤師会にて収集・分析されている事業をさします。

*3: 医療法施行規則の一部を改正する省令に基づき、平成16年10月より日本医療機能評価機構にて収集・分析されている事業をさします。

(1 1) 組織的な病院感染サーベイランスについて

問42 平成18年9月の1ヶ月について、組織的に(病院レベルで認知されて)実施している病院感染サーベイランスの実施対象範囲を選択してください。(複数選択可)

1. 全病棟 2. ICU 3. 特定病棟 4. 手術関連 5. その他 6. 未実施

平成18年9月の1ヶ月について、病院感染サーベイランスに関与した従事者の人数と月間延べ総所要時間*1について回答してください。

		①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤その他職員
問43	9月月間の関与従事者数	人	人	人	人	人
問44	9月月間の延べ総所要時間*1	人・時間/月	人・時間/月	人・時間/月	人・時間/月	人・時間/月

*1:「月16時間(週4時間)従事する看護師1名」と「月8時間(週2時間)従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には24人・時間/月と回答してください。

(1 2) 医薬品の安全管理に関わる活動について

問45 平成18年9月の状況について、薬剤師が駐在する病棟数(ICU・CCU等を含む)*2を回答してください。

病棟

問46 平成18年9月の状況について、1週当たりの全薬剤師の病棟駐在延べ時間合計を回答してください。

人・時間/週

問47 平成18年9月の状況について、全薬剤師の総活動時間における活動内容の内訳を①～⑧の分類に基づいて、合計で100%になるように配分してください。およその割合で構いませんので割り切って回答してください。

①患者の薬歴管理・服薬指導	%	④IVHの混合調整	%	⑦医薬品情報収集・提供	%
②入院時持参薬調査	%	⑤処方内容に関する院内の疑義照会	%	⑧その他の全業務(調剤・調整, 管理業務を含む)	%
③抗がん剤混合調整	%	⑥保険薬局からの照会対応	%	①～⑧の合計(100%にして下さい)	%

*2: 薬剤師が常駐していたり、半日等定期で駐在している病棟の総数を回答してください。

(1 3) 医療機器の保守点検について

問48 平成18年9月30日現在の、あなたの病院に勤務する臨床工学技士の常勤換算人数*3を回答してください。

人

問49 平成18年9月の状況について、1週当たりの全臨床工学技士の医療機器保守点検業務延べ時間合計を回答してください。

人・時間/週

問50 平成18年9月の1ヶ月について、外部委託による医療機器の月間保守点検費用を回答してください。

千円/月

*3: 常勤換算とは、1週間の常勤を1.0とし、1週間に半日分のみ勤務する場合を0.1日と計算するもの(小数点第一位まで記入してください)。

(1 4) 廃棄物処理について

問51 平成18年9月30日現在、あなたの施設では、廃棄時の廃棄物の仕分け・分類について職員に周知徹底していますか？(複数選択不可)

1. よく周知徹底している 2. やや周知徹底している 3. どちらともいえない 4. あまり周知徹底していない 5. 全く周知徹底していない

平成18年9月の1ヶ月について、あなたの施設における廃棄物処理の、重量と処理委託費用について回答してください。

		①感染性廃棄物	②非感染性廃棄物	③その他の廃棄物
問52	月間の重量	キロ/月	キロ/月	キロ/月
問53	月間の処理委託費用	千円/月	千円/月	千円/月

(15) 患者側の立場を重視する活動について

問54 患者相談窓口やそれに相当する窓口をいつ設置しましたか？
なお、福祉や施設連携の相談窓口は対象に含めないでください。

和暦で回答してください。	平成	年度	設置していない場合は「✓」を記入→	<input type="checkbox"/>
--------------	----	----	-------------------	--------------------------

問55 平成18年9月30日現在の、問54の窓口相談における専従(相談業務のためにほぼ100%従事)の勤務者数を回答してください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員*1	⑥事務補佐職員
人	人	人	人	人	人

問56 平成18年9月の状況について、問54の窓口相談における兼務の従事者の1週当り延べ従事時間*2を回答してください。
なお、福祉や施設連携の相談業務は含めないでください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員*1	⑥事務補佐職員
人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

問57 平成18年9月30日現在、医療事故やエラーならびにそれらが疑われるような訴えが患者からあった場合に、医療者側・患者側の間で中立な立場で、仲介する担当者(メディエーターなど)を配置していますか？(複数選択不可)

1. 設置している 2. 設置に向けて計画・検討中 3. 設置していない

問58 問57で「1. 設置している」と応えた場合のみお答えください。
平成18年9月の状況について、担当者の1週当たり延べ従事時間を回答してください。

①医師・歯科医師	②看護職員	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務管理職員*2	⑥事務補佐職員
人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週	人・時間/週

*1: 一定の権限をもって、計画・立案・実施を担っている職員が該当します。
*2: 「週4時間従事する看護師1名」と「週2時間従事する看護師1名」の計2名がいる場合、②看護職員には6人・時間/週と回答してください。

(16) 医療の質・安全に関する情報公開について

問59 平成18年9月30日現在、病院のホームページなどのインターネット媒体を通じて、院外に情報公開している医療安全に係る情報を選択してください。(複数選択可)

1. 基本的考え方・方針*4 2. 組織図・組織体制 3. 具体的活動内容 4. その他

問60 平成18年9月30日現在、病院の広報誌などの紙媒体を通じて、院外に情報公開している医療安全に係る情報を選択してください。(複数選択可)

1. 基本的考え方・方針*4 2. 組織図・組織体制 3. 具体的活動内容 4. その他

問61 平成18年9月30日現在、病院のホームページなどのインターネット媒体を通じて、診療実績や診療成績を院外に情報公開をしていますか？(複数選択不可)

1. ほぼ全診療科で公開 2. 一部の診療科で公開 3. 公開していない

問62 平成18年9月30日現在、病院の広報誌などの紙媒体を通じて、診療実績や診療成績を院外に情報公開をしていますか？(複数選択不可)

1. ほぼ全診療科で公開 2. 一部の診療科で公開 3. 公開していない

問63 問59～問62の他に、医療の質や安全に関して、他の施設ではみられないような特別な情報を公開している場合、その情報の内容を自由に記入してください。(問59, 問60で「4.その他」を選択した場合もご記入ください)

*4: 医療法施行規則第11条に定めるところの「医療に係る安全管理のための指針」に相当する内容をさします。

(17) 安全文化について

医療安全管理室の室長・専従者等の医療安全管理のご担当者が回答してください。 あなたからみた、あなたの病院全体の評価について、最もあてはまるものに「✓」をつけてください。 (複数選択不可)		全くその通り	ややそうだ	どちらでもない	やや違う	全く違う
(1)	あなたの病院では、ミスや事故を起こさないように、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5
(2)	あなたの病院では、重要なことや問題について自由に話しあったり、報告することができる	1	2	3	4	5
(3)	あなたの病院では、他の部門・診療科や他の職種に、気兼ねなく意見を言ったり、依頼をすることができる	1	2	3	4	5
(4)	あなたの病院では、仕事の正確さや質の向上のために、部署・職種間でうまく連携している	1	2	3	4	5
(5)	あなたの病院では、ミスや事故を防ぐために必要な情報は、職場で共有されている	1	2	3	4	5
(6)	あなたの病院では、重要な情報は、必要な全ての部署・病棟等に速やかに連絡が行き届く	1	2	3	4	5
(7)	あなたの病院では、周りの職員が医療事故防止について意欲的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(8)	あなたの病院では、全員が一丸となって、ミスや事故が起こらないように熱心に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(9)	あなたの病院では、ミスや事故防止のために、積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5
(10)	あなたの病院では、病院職員のプロとしての技能を高めることができる	1	2	3	4	5
(11)	あなたの病院では、同僚から、プロとしての良い刺激を受ける	1	2	3	4	5
(12)	あなたの病院では、教育・研修など、自分の技能を高めるための機会が十分にある	1	2	3	4	5
(13)	あなたの病院では、素早く無駄なく医療・ケア・サービス等を提供することよりも、ミスや事故を起こさないことが優先されている	1	2	3	4	5
(14)	あなたの病院では、問題が起こった場合、職場の仕組みの改善よりも、個人の責任ばかりが追求される	1	2	3	4	5
(15)	あなたの病院では、病院の根底にある考え方や目指している方向が、病院全体でよく理解できている	1	2	3	4	5
(16)	あなたの病院では、具体的な目標が設定されている	1	2	3	4	5
(17)	あなたの病院では、ミスや事故を起こさないために必要な施設・設備・機器などが揃っている	1	2	3	4	5
(18)	あなたの病院では、時間が十分にあるので、確実な手順で医療・ケア・サービス等が提供できる	1	2	3	4	5
(19)	あなたの病院では、ミスや事故防止のために、必要な人材・人員が揃っている	1	2	3	4	5
(20)	あなたの病院では、各職員が自身の責任を全うできるように、必要な権限が与えられている	1	2	3	4	5
(21)	あなたの病院では、各職員が仕事を行う上で、指揮命令系統が明確である	1	2	3	4	5
(22)	あなたの病院では、院内内のデータ(インシデントレポート等)は、熱心に収集され、分析され、対策に役立てられている	1	2	3	4	5
(23)	あなたの病院では、ミスや事故が起こらないように、病院外部の関連情報が十分に収集され、活用されている	1	2	3	4	5
(24)	あなたの病院では、ミスや事故を発生させないための対策は、確実に実施され、そのフォローアップが徹底されている	1	2	3	4	5
(25)	あなたの病院では、これまでの安全対策や改善策は、手順や仕組みの一部として病院や部署に蓄積され、継続的に実施されている	1	2	3	4	5

(26) あなたの職種を選択してください。(複数選択不可)

1. 医師・歯科医師 2. 看護職員 3. 薬剤師 4. 医療技術員 5. 事務管理職員 6. その他職員

(18) 施設基本情報

I あなたの施設は大学病院ですか？		<input type="radio"/> 1. 大学病院 本院(相当)		<input type="radio"/> 2. 大学病院 分院(相当)		<input type="radio"/> 3. 大学病院以外	
II 開設地域(地方厚生局による分類)を選択してください。							
<input type="radio"/> 1. 北海道		<input type="radio"/> 2. 東北 <small>(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)</small>		<input type="radio"/> 3. 関東信越 <small>(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野)</small>		<input type="radio"/> 4. 東海北陸 <small>(富山、石川、岐阜、静岡、愛知、三重)</small>	
<input type="radio"/> 5. 近畿 <small>(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)</small>		<input type="radio"/> 6. 中国 <small>(鳥取、島根、岡山、広島、山口)</small>		<input type="radio"/> 7. 四国 <small>(徳島、香川、愛媛、高知)</small>		<input type="radio"/> 8. 九州 <small>(福岡、佐賀、長門、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)</small>	
III 開設者を選択してください。							
<input type="radio"/> 1. 国立・独立行政法人		<input type="radio"/> 2. 公立・地方独立行政法人		<input type="radio"/> 3. 公的		<input type="radio"/> 4. 社会保険関係法人	
<input type="radio"/> 5. 学校法人		<input type="radio"/> 6. 医療法人		<input type="radio"/> 7. その他		()	
IV 平成18年9月30日現在の稼動病床数							
	①一般病床	②医療療養病床	③介護療養病床	④精神病床	⑤結核病床	⑥感染症病床	
稼動病床数	床	床	床	床	床	床	床
V 平成18年9月30日現在の特殊診療設備							
	①集中治療室*1	②ハイケアユニット	③救急専用病床	④放射線治療病床	⑤無菌治療室		
稼動病床数	床	床	床	床	床	床	床
VI 平成18年9月30日現在の常勤換算職員数*2(回答時点は多少前後して構いません)							
	①医師・歯科医師	②看護職員*3	③薬剤師	④医療技術員	⑤事務職員	⑥その他職員*3	
常勤換算人数*2	人	人	人	人	人	人	人
VII 平成18年度上半期[4月～9月]の患者数							
	①延べ外来患者数	②新外来患者数 (初診料算定件数)	③延べ入院患者数	④新入院患者数	⑤退院患者数		
患者数	人	人	人	人	人	人	人
VIII 平成18年度上半期[4月～9月]の診療関連状況							
(1)	一般病床の平均在院日数 <small>(小数点第1位まで)</small>		日	(4)	手術件数		件
(2)	一般病床の病床利用率		%	(5)	全身麻酔件数		件
(3)	病棟数		病棟	(6)	外来の院外処方割合		%
IX 平成18年9月30日現在の病院機能等							
(1)	一般病棟の看護配置を選択してください。 <small>(複数選択不可)</small>	<input type="radio"/> 1. 7対1 <input type="radio"/> 2. 10対1 <input type="radio"/> 3. 13対1 <input type="radio"/> 4. 15対1					
(2)	感染症指定の種別を選択してください。 <small>(複数選択不可)</small>	<input type="radio"/> 1. 特定または第一種 <input type="radio"/> 2. 第二種 <input type="radio"/> 3. 指定なし					
(3)	救急医療の受け入れ体制を選択してください。 <small>(複数選択不可)</small>	<input type="radio"/> 1. 三次救急 <input type="radio"/> 2. 二次救急 <small>(毎日対応)</small> <input type="radio"/> 3. 二次救急 <small>(特定日対応)</small> <input type="radio"/> 4. 一次救急					
(4)	日本医療機能評価機構の初回の認定年度(和暦)を回答してください。 <small>(認定済の施設のみ)</small>	平成					年度
(5)	日本医療機能評価機構の更新の認定年度(和暦)を回答してください。 <small>(更新済の施設のみ)</small>	平成					年度
(6)	医療安全対策加算の算定の有無を選択してください。	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無					
X 医業収支 ※診療報酬体系の在り方を検討する際に必要となる情報です。差し支えない範囲で回答してください。							
(1)	平成18年度上半期 医業収入		千円	(5)	平成17年度年間 医業収入		千円
(2)	平成18年度上半期 介護収入		千円	(6)	平成17年度年間 介護収入		千円
(3)	平成18年度上半期 医業・介護費用		千円	(7)	平成17年度年間 医業・介護費用		千円
(4)	(うち)人件費		千円	(8)	(うち)人件費		千円

*1: 診療報酬点数上の集中治療室、新生児特定集中治療室、母体・胎児集中治療室、広範囲熱傷集中治療室、脳卒中ケアユニットを含めてください。

*2: 常勤換算とは、1週間の常勤を1.0とし、1週間に半日分のみ勤務する場合を0.1日と計算するもの(小数点第一位まで記入してください)。

*3: 看護助手は「⑥その他職員」に含めてください。